第107回 理事会（平成18年度第6回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時：平成18年10月10日（火）19：00～21：00
 2. 場 所：神奈川県社会福祉会館 2階第1会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
 3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、山田 隆、八尾 勉
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、菊地 富士夫
（理事）徳本 進、川田 光代、吉野 大成、藤田 浩介、金子 理人、
国島 みどり、清水 忠、岡本 洋一、百海 廷、森本 珠水、
小池 光、平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私、平賀 淳夫
欠席理事：（会長）河野 洋平
（常務理事）上田 英之、木村 徳善
（理事）荻野 恭宏
 4. 出席監事 木村 信吉、内海 雄三
 5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
 6. 議事録署名人選出 百海 廷理事、吉岡 去私理事を選出
 7. 書 記 川井 紀明広報委員を指名
 8. 議 事
- 開 会 野地副会長から開会の挨拶を述べた。

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

- ① 菊地本部長より、9月16日～18日にノルディックローラー合宿が山梨県で実施され無事終了したことの報告があり、了承された。
- ② 菊地本部長より、9月29日に競技本部委員長会議兼高体連・中体連合同会議が開催されたことが報告され、了承された。
- ③ 菊地本部長より、当面の予定として、11月14日全国アルペン担当者会議と10月14日に指導者セミナーがあることが報告され、了承された。

(2) 審議事項

- ① 神奈川県総体スキー競技会に関する業務分担及び経費負担等に関する協定書について
菊地本部長より、神奈川県総合体育大会スキー競技会に関して過去に協定書を締結したことがなかったが、次回よりSAKも主催者に加わることもあり、協定書締結の要請があった。SAKとしては更なる検討を行い、来年の評議員会に報告すべく、草案を作成し理事会に提案、審議を行ない、県総体で各協会へ提示できるようにする旨の提案がなされ、承認された。
- ② 第5回チャレンジカップ第1戦東日本キャタピラー三菱大会の日程変更について
菊地本部長より、第5回チャレンジカップ第1戦東日本キャタピラー三菱大会の日程について、12月15日～17日を計画していたが、スキー場と協議した結果、この時期にコンディションを万全にすることは困難と判断し、22日～24日に変更要請があった旨の提案がなされ、承認された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

- ① 岡本理事より、下記行事についての報告があり、了承された。
イ) 神奈川県・千葉県スキー技術選手権大会の実行打合せ
期日：9月8日（金）19：00～

参加：SAK清水理事 SAT猪俣ウザミ、古藤理事

- ・日程、種目変更、採点方法等について打合せを実施。

ロ) 日赤救急員養成講習会の開催について

期日：9月2日、9日、10日 場所：三浦ふれあいの村

参加者：28名（昨年参加者11名） スタッフ：11名

ハ) スキー専門委員実技講習会（A）の開催場所視察について

期日：9月14日（木） 場所：スノーヴァ新横浜

- ・新行事として企画したスキー専門委員実技講習会（A）の現地視察をスノーヴァ新横浜にて片専務、木村本部長、教育本部理事にて行い、会場の大きさ専門委員の数などトータル的にみて開催は無理と判断した。また、県連の行事を説明し、協賛のご協力をお願いした。

二) 第1回正副委員長会議の開催

期日：9月20日（水） 場所：県社会福祉会館

参加者：正副委員長、教育本部理事

- ・今年度の活動説明、各委員会との連携について説明があった。

ホ) 拡大教育本部会の開催について

- ・拡大教育本部会は、昨今参加者が少ないため、南関ブロック研修会と併設して実施することが報告された。

ヘ) SAJ 指導員検定会/A級公認検定員・検定会の検定員決定について

- ・指導員検定会（2/16～17）第三会場（尾瀬岩鞍）・・・木村本部長
- ・A級公認検定員検定会（2/16～17）第三会場（尾瀬岩鞍）・・・清水理事

ト) その他

- ・要領説明会での質問については、各行事申し込み改訂版、準指検定などの追加資料を作成し、Webへアップ済み。併せて事務局員2名へ今年度行事内容を説明済。
- ・北海道委員会へ正副委員長の出席を依頼し、打ち合わせを実施した。
- ・各行事の電子申し込みについて、随時説明を実施。
- ・各委員会それぞれ打ち合わせを開始し、後日議事録など、レポート提出予定。
- ・行事でお世話になる観光協会、スキー場、ホテルへ行事連絡を送付済。
- ・SAJへSAK行事計画を報告済。
- ・スキージャーナル社へ書籍販売依頼済。

(2) 審議事項

① 神奈川県・千葉県合同スキー技術選手権大会種目の変更について

清水理事より、神奈川県・千葉県合同スキー技術選手権大会種目の変更について、種目全体のバランスを考慮し、かつ、予選種目に関しては、多くのスキーヤーが参加しやすい種目になるよう設定するため、予選種目の不整地小回りを総合滑降に変更する案の提案がなされ、承認された。

② SAK教育本部正副委員長の選出（配布資料）について

清水理事より、SAK教育本部正副委員長の選出について提案がなされ、承認された。

③ 次年度指導員研修会理論の開催について

岡本理事より、次年度指導員研修会理論について、会場は川崎教育文化会館、開催日は平成19年11月18日または、11月11日で計画する旨の提案がなされ、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

① 慶弔関係について

徳本事務局長より、慶弔関係について下記の報告があり、了承された。

山本 忠道様 青森県スキー連盟会長 訃報弔電

青木 巖様 全日本スキー連盟副会長叙勲パーティーに片専務出席予定（10月30日）

② 資金運用状況について

藤田理事より、9月末現預金残高は昨年同時期より50万円ほど減っているとの報告があり、了承された。

③ 登録状況について

徳本事務局長より、18年度の登録手続きを順次進めている最中で、次回理事会にて報告することです承された。

④ 総務委員会

次の各理事から報告があり、了承された。

イ) 電子申込み委員会（徳本事務局長）

電子申込みは11月より利用できるように現在準備中との報告があった。

ロ) ウェア委員会（川田理事）

グッズのアイデアを募集したところ、現在11件の応募がある。案が出揃ったところで、委員会に諮りたいとのこと。

ハ) 普及振興委員会（吉野理事）

教育振興会の教職員向けの配布物にジュニア行事等の案内を挟み込んでもらっていたが、配布物の目的と異なる部分もあり、予算化はしてあったが、今年度からはできないことになった。また、横浜および厚木教育委員会を通じて昨年までの小学校向けに加え、今年から中学校にもジュニア行事の案内を配布予定との報告があった。

ニ) 協賛会員拡大委員会（川田理事）

9月に菊地本部長の紹介でデサントさんより応募があった。今後、資料を送付し詳細について打合せるとの報告があった。

ホ) 個人情報保護委員会（徳本事務局長）

事務所の各本部キャビネットの鍵をそれぞれ3個作ったので、各1個を事務局、2個を各本部で管理をお願いしたいとの要請がなされた。

ヘ) HC委員会（国島理事）

ハンディキャップセミナーの案内を昨年の参加者とボランティアの方に発送した。9月22日に第4回ハンディキャップ委員会を実施し各行事に参加する委員を決定した。賛助会費は、10月6日現在で78件、270,694円のご協力を得ています。

ト) 広報委員会（金子理事）

10月4日に広報委員会を開催して、今シーズンの行事取材について割り当てをおこなった。特に今年から新たに加わった競技行事の取材担当を含め、次回理事会までに報告できるようにするとの報告があり了承された。

チ) 規約規程委員会（徳本事務局長）

7月に開催された理事会にて承認された教育本部の全日本スキー技術選手権大会派遣選手選考規程、SAK教育本部指定強化選手選考基準を規約規程原簿に追加・制定したとの報告及び追加規程が配布された

リ) 財務委員会（藤田理事）

特になし。

⑤ SAJ会員登録のスケジュールについて

徳本事務局長より、10月27日に18年度登録受付分を担当理事が内容を確認し、10月30日SAJへ発送予定との報告があり、了承された。

⑥ SAJスキー年鑑の原稿送付

徳本事務局長より、SAJスキー年鑑に掲載される県連だよりの原稿作成し、9月8日に発送済との報告があり、了承された。

⑦ 県体協への報告資料の提出完了について

徳本事務局長より、県体協への報告資料を9月22日に発送済との報告があり、了承された。

⑧ 専門委員の委嘱状送付について

徳本事務局長より、各本部専門委員の委嘱状を作成し、9月16日に各本部に渡したので、各本部から専門委員へ渡して欲しいとの要望があり、了承された。

⑨ 県教育庁への報告資料提出完了について

徳本事務局長より、県教育庁への報告資料を9月30日に発送済との報告があり、了承された。

⑩ 今年度の行事一覧及び報告書作成について

徳本事務局長より、今年度の行事一覧を作成し、各理事宛にメールで配信済であるので、担当された行事の報告書を作成するように要望があり、了承された。

(2) 審議事項

① 功労指導員、名誉検定員、功労パトロールの推薦（配布資料）について

徳本事務局長より、平成18年度の功労指導員9名、功労準指導員5名、名誉検定員2名、合計16名の候補者をSAJへ推薦したい旨の提案がなされ、承認された。尚、今回功労パトロール

については該当者なしと報告があった。

- ② 県体育功労者表彰に係る候補者の推薦について
徳本事務局長より、平成18年度の県体育功労者表彰については、小島祐嘉参与を推薦したい旨の提案がなされ、承認された。
- ③ 有資格者の研修会免除願いについて
徳本事務局長より、有資格者16名の研修会免除願いが提出されており、審議いただきたいとの提案がなされ、費用も免除されるのかとの質問があり、登録費は免除されないが研修会の費用は免除されると回答があった。審議の結果、承認された。
- ④ 監査規程について
徳本事務局長より、監査規程を新たに制定したいとの提案がなされ、次回の理事会での審議事項とし、各理事はそれまで内容を把握しておくことになった。
- ⑤ ハンディキャップ専門委員の追加承認について
徳本事務局長より、相模原市スキー協会の町田智子さんをハンディキャップ専門委員に追加承認の提案がなされ、承認された。
- ⑥ 受信、発信文書の取り扱いについて
徳本事務局長より、個人宛文書が開封されたことを受けて、文書取り扱い要領を見直し、親展及び個人宛文書を除きすべて開封することや、押印の記録がないなどの不備を是正するために、「受信・発信文書取り扱いについて」の運用提案がなされ、承認された。

4) その他

- ① 北海道行事への抗議について
野地副会長より、一昨年北海道行事でセクハラ行為を受けたとの苦情の電話が匿名であったとの報告がなされた。ご本人には、以後このようなことが起こらないよう、役員一同十分気を付け対応していくことで、了解を得た。事実確認困難なもの、今後は、各本部、専門委員会で充分注意を促し、このようなことが二度と起こらないように注意をすることの要望がなされた。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成18年10月20日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印